

# 2021年 Global Compact支持・ 支援活動と4分野「10 原則」への取り組み

フルハシEPO株式会社

FULUHASHI EPO CORPORATION

期間：2021年2月～2022年1月

～ EPOは、地球の生態系、環境を表す「Eco・Environment」  
と港を表す「Port」から名づけました ～



## 2021年 Global Compact支持・支援活動と 4分野「10原則」への取り組み

### <トップメッセージ>

フルハシEPOは『環境』を主軸に、Global Compact (GC)の活動「4分野10原則」を持続的に支持・支援し、CSR活動、SDGs活動を積極的に行っております。

CSR活動においては、経営理念「世のため人のため地球のため社員のため持続可能な社会を創造します」に基づくCSR基本方針『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに』を掲げ、GCの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」を目指しています。

SDGs活動においては、17のゴールの中、当社企業活動に関係の深い6ゴールに重点をおいて推進しています。

また、職務の適法性を確保するため、コンプライアンス規程を定め、行動指針を制定しております。法令遵守し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダーに対して、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、付加価値のある経営を行うことで社会的責任を果たします。そこには2020年から続く新型コロナウイルス感染症予防の対策も欠かせません。

4分野10原則の遵守された世界を目指し、経営方針にも掲げる「世のため、人のため、地球のため、社員のため」に、業界のリーディングカンパニーとして、未来の子供たちが安心して暮らすことのできる持続可能で良質な環境社会の創造に寄与します。

代表取締役社長 山口 直彦

## ＜人権原則＞

原則１：企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権擁護を支持し、尊重する。

原則２：人権侵害に加担しない。



## 《当社の方針》

- ・SDGs：5 ジェンダー平等を実現しよう。10人や国の不平等をなくそう。16平和と公正をすべての人に。
- ・「人権尊重」  
あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めない。
- ・「行動規範」：基本的人権の尊重、人種、信条、性別、年齢、社会的身分、門地、民族、宗教または障害の有無等の理由による差別や個人の尊厳を傷つける行為の禁止。
- ・「公正な採用」の遵守。
- ・「お取引先との公正・透明な取引」（CSR活動：『社会とともに』）

## 《取り組み・活動》

### 1) 周知

- ①人権に関する意識向上のため、従業員へ行動指針カードの配布携帯の指示。
- ②朝礼などで、行動指針カードの唱和。
- ③CSR活動：基本方針を明記したリーフレットの配布（会社説明会・展示会など）
- ④CSRLレポート「FULUHASHI EPO REPORT2021」の発行。

### 2) 研修・活動

- ①2021年4月5日 新入社員研修時に人権・ハラスメント研修を実施。
- ②2019年10月コンプライアンス委員会を設置、隔月開催。
- ③中途入社時研修（随時）で、人権を支持、尊重する人事方針を指導。
- ④「公正採用選考・人件啓発推進員」の選任、2021年6月更新、採用面接官への周知徹底。
- ⑤ボランティア活動による休暇を認め、社員のボランティア活動を推進。
- ⑥ 2021年1月全社員へコンプライアンス研修（e-ラーニング）実施。  
2021年2月、3月全社員へハラスメント研修（e-ラーニング）実施。
- ⑦内部通報制度の導入。

## 《成果・評価測定》

- 1) 研修アンケートによる従業員の人権擁護・ハラスメント意識の調査。
- 2) 研修・教育の参加報告書の作成、提出。
- 3) 研修（e-ラーニング）テスト結果の報告・評価分析。
- 4) SDGs活動報告CSRLレポート「FULUHASHI EPO REPORT2021」の発行（2021年7月）。

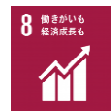
## ＜労働原則＞

原則3：組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。

原則4：あらゆる形態の強制労働を排除する。

原則5：児童労働を実効的に廃止する。

原則6：雇用と職業に関する差別を撤廃する。



## 《当社の方針》

- ・SDGs：5 ジェンダー平等を実現しよう。8 働きがいも経済成長も。10人や国の不平等をなくそう。16平和と公正をすべての人に。
- ・「人権尊重」あらゆる企業活動の場面において人権を尊重し、差別的取扱い、児童労働、強制労働を認めません。
- ・「従業員の尊重と育成」社員一人ひとりの多様性を尊重し、働き甲斐をもって自己実現に向かう人材育成をする。
- ・「ワーク・ライフ・バランスに配慮し、働き方改革に努める」従業員の安全と健康を確保する。（CSR活動：基本方針『社員とともに』）
- ・「公正な採用」の遵守。

## 《取り組み・活動》

### 1) 周知

- ①従業員の意識向上のため行動指針カードの配布、携帯の指示。
- ②朝礼などで、行動指針カードの唱和。
- ③働き方改革：新型コロナ感染症対策も含め多様な勤務として社内通達によるテレワーク勤務推進。
- ④社内報や社内ネットワークで育児休業・介護休業制度、短時間労働の周知、取得の推奨。
- ⑤福利厚生制度の充実：結婚出産入学等へのお祝いの充実と社内報を通じて内容の周知。

### 2) 研修・活動

- ①2019年10月コンプライアンス委員会を設置、隔月開催。
- ②オアシス運動(より良い職場環境づくり活動)の推進、2021年4月社内表彰制度による表彰。
- ③雇用平等、労働の多様性、積極的な障害者雇用への推進、2021年6月社外研修参加。
- ④「公正採用選考・人件啓発推進員」の選任、2021年6月更新、採用面接官への周知徹底。
- ⑤中途入社時研修(随時)で、平等な雇用を指導。
- ⑥2021年4月、5月、6月 全社員へSDGs研修(e-ラーニング)実施。
- ⑦2021年2月、3月 全社員へハラスメント研修(e-ラーニング)実施。
- ⑧内部通報制度の導入

## 《成果・評価測定》

- 1)オアシス運動(働きやすい明るい職場活動)に対する評価(社内表彰制度)。
- 2)働き方改革、雇用の多様性についての実績報告・分析。  
(育児・介護休業、育児時短勤務、障害者・高齢者雇用など)
- 3)研修(e-ラーニング)テスト結果の報告・評価分析。
- 4)SDGs活動報告：CSRレポート「FULUHASHI EPO REPORT2021」の発行(2021年7月)

## <環境原則>

原則 7：環境問題の予防的なアプローチを支持する。

原則 8：環境に関して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。

原則 9：環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。

## 《当社の方針》

(HPへ掲載 <https://www.fuluhashi.co.jp/environment03.html>)



### ・「環境理念」

私たちは地球環境と未来の子供たちのために、再生可能な資源・エネルギーのポテンシャルを引き出し、最大限に活用することによって持続可能な社会の実現を目指します。

(代表取締役 山口直彦)

### ・「環境方針」

フルハシEPOは事業の遂行にあたり、よりクリーンな経営・生産活動を目指す取り組みの基本方針として以下を定めております。

1. 事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、見直しを行い、環境マネジメントシステム及びパフォーマンスの継続的向上を図ります。

①木質バイオマスの重要性を認識し、積極的な活用を推進します。

②全ての部門で、ムリ・ムダ・ムラを削減、省資源・低エネルギーを推進し、業務の合理化を図ります。

③従業員が健康に働ける職場環境を整えるとともに、環境教育の機会を提供し一人ひとりが環境への意識を向上し、環境保全活動を進めて行きます。

④環境情報の開示や発信を通して、ステークホルダーとの信頼関係を築きます。

⑤食の安全保障、再生可能エネルギーの創出、生物多様性の保全、資源の活用と地産地消に努め、持続可能な社会づくりのために必要な活動を展開します。

2. 法規制の遵守はもとより、自らの責任において高い目標を設定し、その実現に努めていきます。

3. 環境への汚染をゼロに近づけるため、いっそうの環境保全に取り組みます。

4. この方針を達成するために、「環境安全衛生委員会」を組織し、全員参加で環境活動を推進します。

5. この方針は広く一般に公開します。

・ SDGs：7エネルギーをみんなにそしてクリーンに。9産業と技術革新の基盤をつくろう。

12つくる責任つかう責任。13気候変動に具体的な対策を。15陸の豊かさも守ろう。

・ 「地球環境の保全と再生に取り組むべき重要な経営課題と捉える」(CSR活動：『環境とともに』)



## ＜環境原則＞

### 《取り組み・活動》

#### 1) 周知

- ①従業員の環境意識向上のため行動指針カードの配布、携帯の指示。
- ②朝礼などで、行動指針カードの唱和。
- ③環境安全衛生委員会による環境経営管理システムの構築。
- ④CSR活動：基本方針を明記したリーフレットの配布（会社説明会・展示会など）
- ⑤CSRLレポート「FULUHASHI EPO REPORT2021」の発行。

#### 2) 研修・活動

- ①エコアクション21取得。工場を含め対象の全ての拠点で取得。
- ②あいちCO2排出量削減マニフェスト2030へ登録（2021年10月）し、目標達成むけ活動、
- ③緑化推進「花いっぱい活動」を各工場で実施。
- ④環境活動貢献者への社内表彰。2021年4月社内表彰制度による表彰。
- ⑤ボランティア活動による休暇を認め、社員のボランティア活動を推進。
- ⑥グループとしてSDGsへの取り組み強化：2021年4月グループ会社講義実施。
- ⑦2021年4月、5月、6月 全社員へSDGs研修(e-ラーニング)実施。
- ⑧2021年9月 全社員へ環境研修(e-ラーニング)実施。

#### 3) 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する事業活動

- ①再生可能エネルギーの活用～木質バイオマス発電事業への参画。  
 ※2008年一部出資により川崎バイオマス発電（株）設立。2011年2月発電所稼働。  
 ※2017年一部出資によりCEPO半田バイオマス発電（株）設立。2019年10月発電所稼働。  
 隣接した木質チップ供給工場（愛知第七工場）を2019年3月開設・運営。
- ②建物の建築・解体現場から出る廃棄物の分別・回収（エアコンのフロン回収も実施）
- ③間伐材の循環的有效活用
  - ・間伐材を利用したパレットの販売（プラスチックパレットよりCO2排出量を97%削減）
  - ・3R（補修等）による長期使用、使用済みのパレットを回収し、木質バイオマス燃料へリサイクル活用。
- ④海域でバイオマス(海藻)を資源エネルギーとして製造およびその有効活用(食品等)を研究、地域活性化を図る。
- ⑤有機栽培、水耕栽培の活用促進方法の研究。
- ⑥「always ecology forever healthy」の理念のもと、地球環境と健康にこだわり、無化学肥料・無農薬栽培にこだわった野菜栽培の研究・促進。
- ⑦2020年4月から愛知第七工場ではCO2フリー価値つき電力の導入によるカーボンニュートラル活動。



## <環境原則>

### 《成果・評価測定》

- 1)「あいちCO2排出量削減マニフェスト2020」の活動実績報告。提出先:愛知県。  
(2015年12月18日トリプルスターを取得。)  
現在、「あいちCO2排出量削減マニフェスト2030」登録、活動継続。
- 2)対象全ての拠点で「エコアクション21」を更新。
- 3)CSRLレポート「FULUHASHI EPO REPORT2021」の制作発行による環境保全活動のステークホルダー等への報告(2021年7月)。  
HPへ掲載 <https://www.fuluhashi.co.jp/environment04.html>
- 4)毎月環境安全衛生委員会での活動実績報告。
- 5)「海洋深層水を使用した海藻陸上養殖の実証実験」に関する実績報告(2021年4月)。  
提出先:富山県入善町。
- 6)肥料として有機肥料活用促進のための「育苗システム、浮き材」特許取得(2018年6月)。
- 7)水耕栽培等における植物栽培用養液の製造方法及び植物栽培方法に関する特許取得(2020年8月)。
- 8)省エネ法対象事業所におけるエネルギー使用量の定期報告(2021年7月)。
- 9)環境活動貢献者への社内表彰。2021年4月社内表彰制度による表彰。
- 10)研修(e-ラーニング)テスト結果の報告・評価分析。

育苗システム特許証(6347878号)

植物栽培用養液の製造方法及び植物栽培方法特許証(6747731号)



## <腐敗防止原則>

原則 10：強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。



### 《当社の方針》

- ・「腐敗防止原則の遵守：お取引先との公正・透明な取引」  
公正、透明、自由な競争を行います。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ちます。  
(CSR活動：基本方針『社会とともに』)
- ・SDGs：5 ジェンダー平等を実現しよう。10人や国の不平等をなくそう。  
16平和と公正をすべての人に。17パートナーシップで目標を達成しよう。

### 《取り組み・活動》

#### 1) 周知

- ①入社時、CSR活動：基本方針を明記したリーフレットの配布。
- ②従業員へ行動指針カードの配布携帯の指示。
- ③朝礼などで、行動指針カードの唱和。
- ④CSRレポート「FULUHASHI EPO REPORT2021」の発行。
- ⑤通達等による贈答品への腐敗防止の周知徹底。

#### 2) 活動・研修

- ①コンプライアンス委員会(2019年10月設置)を隔月開催。
- ②腐敗、強要行為にたいする社内監査の実施。
- ③中途入社時研修(随時)で、就業規則遵守、腐敗防止を指導。
- ④SDGsへグループとしての取り組み：2021年4月グループ会社講義実施。
- ⑤社内報で正しい経費処理について定期的に学習、社員へ周知徹底。
- ⑥2021年4月、5月、6月 全社員へSDGs研修(eラーニング)実施。
- ⑦2021年1月 全社員へコンプライアンス研修(eラーニング)実施。
- ⑧2021年6月、11月、2022年1月 全社員へ廃掃法研修(eラーニング)実施。
- ⑨内部通報制度の導入。

### 《成果・評価測定》

- 1) 社内監査による調査報告。
- 2) 経費調査・会計監査による報告。
- 3) 研修報告書の作成。
- 4) 研修(eラーニング)テスト結果の報告・評価分析。

正しい経理処理・社内報



## 参考資料 1 : C S R活動

グローバルコンパクトの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」を目指したCSR活動のため、3つの基本方針

『社会とともに』『環境とともに』『社員とともに』を掲げています。法令・倫理規範を遵守し、安全性と品質を追求するとともに経営の効率化、透明性を常に意識し、お客様・お取引先・社員・地域社会・株主を含む全てのステークホルダー（利害関係者）に対してメリットある経営を行うことで社会的責任を果たします。

『社会とともに』・・・お客様、お取引様、地域の方々など社会の様々な方とコミュニケーションを取り、お客様の立場に立って、誠実に製品やサービスをお届けします。お取引先との相互発展・成長のため、ビジネスパートナーとして公正・透明な取引を行います。また、地域社会の一員として積極的に社会貢献活動を展開します。

『環境とともに』・・・地球環境の保全と再生に取り組むべき重要な経営課題と捉え、事業における環境負荷提言活動に主体的に取り組み、資源の有効活用によりサステナブルな社会づくりにベストを尽くします。

『社員とともに』・・・社員一人ひとりの多様性を尊重し、働きがいをもって自己実現に向かう人材育成を目指します。ワークバランスに配慮し、働きやすい職場環境づくりを進めます。



## 参考資料 2：行動指針「フルハシスピリッツ」

グローバルコンパクトの4つの分野「人権・労働・環境・腐敗防止」、およびCSR活動への従業員意識向上のため、「行動指針カード」を配布・携帯を指示しています。

### 『行動指針』


- ・世の中にとって必要か？
- ・正しいか？
- ・環境にやさしいか？

### ＜自ら未来を創造する＞

1. 新しい可能性にチャレンジし、持続可能な社会を実現します。
2. お客様の立場に立って考え、ニーズに応えます。
3. プラス発想と行動力で付加価値を高めます。
4. 知性・技術・感性を育て、使命感を持って仕事に取り組みます。
5. 豊かなところでユーモアを忘れずに仕事を乐しみます。

### 《7way Spirits》

Fair	公明正大の心持って
Free	自由な発想で
Flexible	柔軟に
Future	未来を創造し
Fresh	新たな商品を
Fast	速やかに
Friendly	真心込めて顧客に提供する



FULUHASHI  
EPO

2010.01

**Fuluhashi Spirits**  
【行動指針】

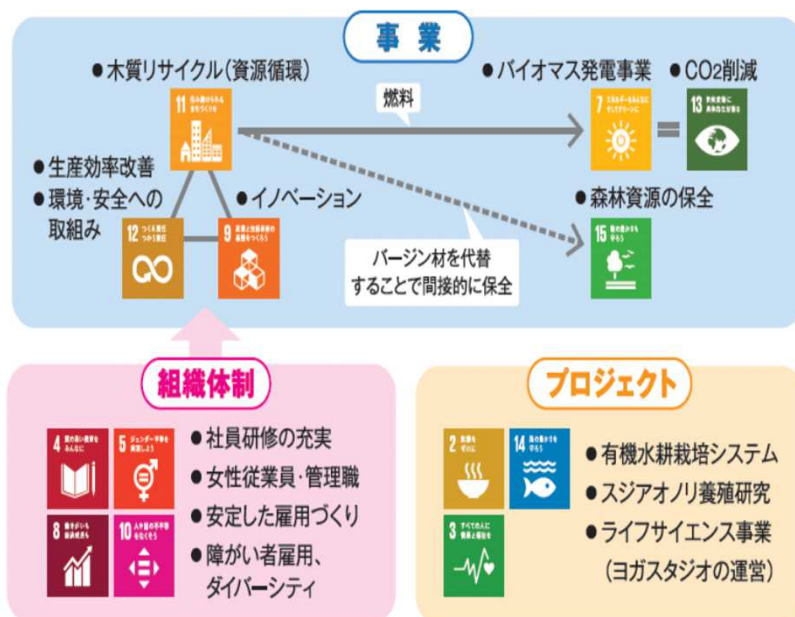
私たちは、地球環境の視点から真に必要なものを、  
お客様の企業価値向上に役立つ製品・サービスとして創り出し、  
子供たちが安心して暮らすことのできる  
低エネルギーで持続可能な社会の実現を目指します。

フルハシスピリッツは当社の経営理念に基づいた行動指針です。  
自ら未来を創造するリーダーシップを持ち、  
チャレンジ精神と感謝の気持ちを大切に、  
お客様とともに喜びあえる会社づくりを目指して、ともに頑張りましょう。

代表取締役社長 山口 直彦



## 参考資料 3 : S D G s への取り組み



### フルハシEPOの4つのテーマ

当社の企業活動は、SDGsの17の目標に広くかかわりますが、特に関係の深い6つの目標に重点を置いて推進していきます。



## 参考資料 4 : 「働き方改革」活動

### ① 「あいち女性の活躍促進宣言」 ～女性が元気に働き続けられる愛知～ <http://www.pref.aichi.jp/0000076193.html>

#### 女性の活躍促進宣言

2015 年 1 月 28 日

会社又は団体名 フルハシ EPO 株式会社

代表者氏名 代表取締役 山口 直彦

「あいち女性の活躍促進行動宣言」の趣旨を踏まえ、女性の活躍促進に向けて取り組んでまいります。

女性の活躍促進に向けた組織トップからのメッセージや今後の取組内容など、それぞれの企業・団体の実情に応じてご自由にご記載下さい。

弊社は社員のワーク・ライフ・バランスを推進し、今後より一層女性が活躍できるよう企業風土の改善と意欲向上に努めます。

- ・女性の活躍支援について、社内の意識改革に努めます。
- ・働き方のダイバーシティに対応できるよう体制を整備します。
- ・女性能力活用のため、女性社員の意識向上と管理職の養成を図ります。

### ②男性社員の育児休業取得促進。

- 1) 社内ネットワークへの掲載。
- 2) 朝礼等での紹介。
- 3) 福利厚生のお祝い制度。  
(社内報で紹介し、利用促進)



新米パパ、育児休業取りました

この動画は、育児休業取得者の体験談を基に制作しています。

## 参考資料5：環境マネジメント 環境安全委員会組織体制：2021年4月

エコアクション21 (EA21) に基づく環境マネジメントを推進しています。

### 環境マネジメント

エコアクション21 (EA21) は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム (EMS) です。

環境活動を継続的に改善する手法 (PDCA) に基づき、組織や事業者などが環境への取組みを自主的に行うための方法を定めています。

フルハシEPOは2012年よりEA21を導入し、環境マネジメントを継続的に推進するための組織、役割および責任を定めています。

特に毎月開催をしている環境安全衛生委員会における環境活動は、このEA21を主軸としています。EA21の項目に合わせて目標を定め、各拠点での活動状況や、拠点独自の取組み内容や数値変化などを情報共有し改善を繰り返し行うことで、フルハシEPO全体での継続的な環境負荷低減を目指しています。

2020年10月時点での更新審査では、3工場の新規認証取得、5営業所・事業所と11工場の合計16拠点での認証継続となり、全19拠点でのEA21認証取得を達成しました。

### 組織体制表

各営業所・事業所、工場に専門員、推進者を配置



環境安全衛生委員会 (WEB会議で実施)



## 参考資料 6 : エコアクション 2 1 認証取得

エコアクション 2 1 は ISO14001 の体制や手引きの規定に加え、環境パフォーマンス評価、環境報告書の規定を統合した、PDCA を基本とした効率的で実行性のあるマネジメントシステムです。

### 【認証取得】

2012年12月	営業本部
2012年12月	愛知第二工場（弥富）
2012年12月	広島工場（旧グリーンランド）
2013年12月	三重工場
2013年12月	飛島リサイクルパーク
2015年12月	本社
2015年12月	千葉営業所・千葉リサイクルランド
2016年10月	横浜営業所（旧関東支社）
2016年10月	愛知第一工場（春日井）
2016年10月	愛知第五工場（清須）
2016年10月	愛知第六工場（豊田元町）
2016年10月	セントレア事業所
2016年10月	静岡営業所・静岡第一工場（掛川）
2016年10月	jonetsuYoga 一社スタジオ
2017年11月	東東京営業所・東東京工場（松戸）
2020年10月	愛知第七工場（半田）
2020年10月	岐阜第一工場（多治見）
2020年10月	湘南工場



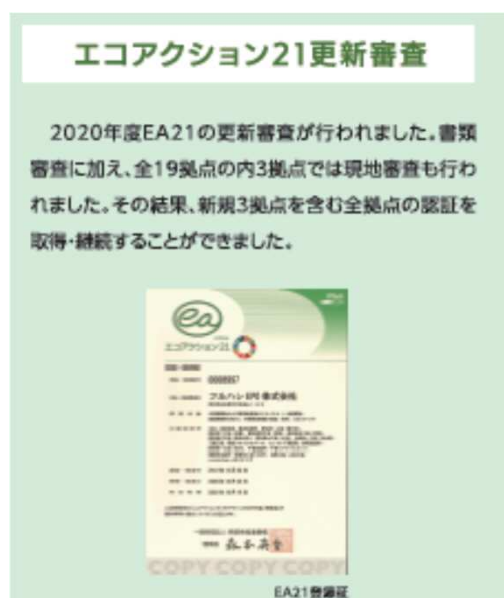
エコアクション21

認証登録番号 0008997

持続可能な社会を構築するためには、あらゆる主体が積極的に環境へ取り組みを実施することが必要である現在、これまで以上に一人ひとりが業務の中で、省エネルギーや資源リサイクル等、環境活動を主体的に意識し、行動していくことが必要と考えています。

### <参考：取得メリット>

- ①環境経営の証
- ②コスト削減（要求事項遵守による業務改善）
- ③経営の効率化（PDCAに基づく環境経営）
- ④産業廃棄物処理業者として優良事業者の要件
- ⑤グリーン入札・入札参加資格
- ⑥条例による「事前協議」の免除



## 参考資料 7 : 環境安全衛生委員会活動

「環境、品質、安全、衛生」の4つに重点を置いて活動をし、実績の横串展開に努めています。

職場の「人権、労働」の公平さを維持するための安全確保とリスク管理、地球温暖化防止のために社内外における環境保全活動を推進しています。

また、活動内容は、毎月委員会にて報告・管理され、年1回環境安全大会にて成果のレビューをしています。

### <主な活動>

- ・ 環境保全・省エネ活動を推進。
- ・ 職場の安全衛生の確認・改善活動。
- ・ 環境安全大会による活動の見える化。
- ・ 防災訓練、安全運転研修。
- ・ 定期的な教育・ミーティング。
- ・ 地域清掃活動参加。

2021年1月エコアクション21研修(オンライン)

2021年11月清掃活動参加



2021年10月5日 全社一斉防災訓練(消火訓練、AED・備蓄確認)

2021年6月 千葉県  
優良産廃処理業者認定



## 参考資料 8 : あいち CO2 排出量削減マニフェスト2030

愛知県は2005年1月に「あいち地球温暖化防止戦略」を策定し、地球温暖化防止に関する取組みを総合的かつ計画的に推進・改定し、施策の充実強化を図っています。『あいちCO2削減マニフェスト』は本戦略に基づき、県内の事業者が自主性や創意工夫を活かしたCO2排出削減の取組みを宣言し、県がそれを認定・PRするものです。

当社は2006年から「CO2削減マニフェスト」に、2012年から「あいちCO2削減マニフェスト2020」に参加をしており、新制度である「あいちCO2削減マニフェスト2030」においてもこの度参加を表明しております。

### 事業所活動

- 環境安全衛生委員会の設置による着実な環境経営の推進。
- 「ムリ・ムダ・ムラの削減」、「省資源・低エネルギー化」を推進、業務効率の改善。
- 工場の省エネ診断の実施（2工場/年の実施予定）。
- 空調機器の設定温度などを適切管理。
- スーパー・クールビズ及びウォームビズ実施。
- 照明の点灯区画の限定等による不要な点灯を削減。
- 産業用機器・OA機器の効率的な使用を実施。
- 機器のリース更新時にあわせてBDF使用重機に順次切り替え（EV・FCV導入を検討）。
- 省エネ型の産業用機器導入。
- 愛知県内全工場での再生可能エネルギー由来の電力導入（導入計画にそって実施）。
- エコドライブ運動・車両入れ替えによる燃費向上（基準値令和元年度20.89km/lより10%向上）。
- リース価格が採算ラインにのり次第、EV・FCV車への順次切り替え（2028年以降予定）。

### 低炭素な製品・サービス

- グリーン購入（環境配慮型製品・サービス）の実施（グリーン購入率45%目標）。
- 木質バイオマスのマテリアル・リサイクルの選別徹底。

### 従業員教育、社会貢献、その他

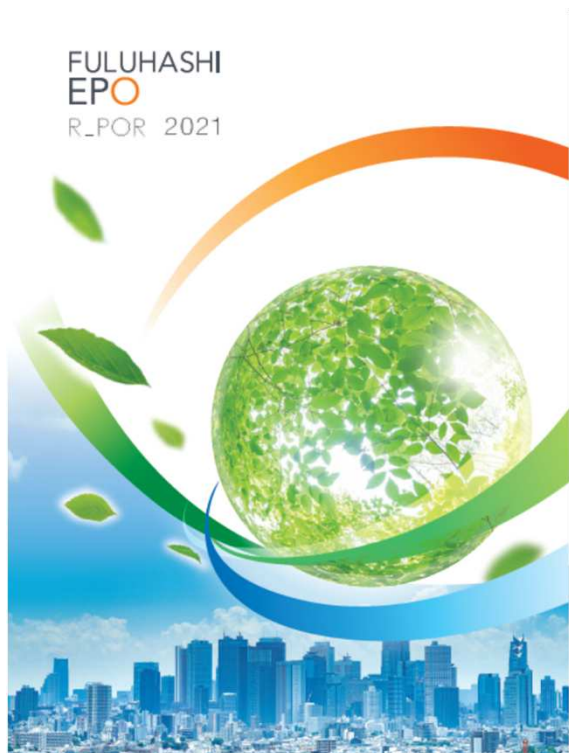
- 環境安全衛生委員会の月間活動に全従業員で取り組む。
- 全従業員のeco検定取得（令和3年9月46.8%、取得率100%目標）。
- 環境報告書（統合レポート）の発行、公開。
- 災害廃棄物（木質系廃棄物）の受け入れ支援。
- 廃棄物選別ロボット（AI）導入。



### 〈活動・成果報告〉

当社マニフェストの内容は愛知県のウェブサイト等で公表、目標達成のための活動を環境安全衛生委員会を中心に実施、活動結果を愛知県へ報告しております。あいちCO2削減マニフェスト2020の活動においてはトリプルスターを取得してます。

## 参考資料 9-1 : FULUHASHI EPO REPORT 2021



## FULUHASHI EPO's Corporate philosophy

### 経営理念

当社は健全な経営を行う企業として、以下の経営理念を掲げて事業を遂行しています。

世のため 人のため 地球のため 社員のため  
持続可能な社会を創造します

### FULUHASHI Spirits

世の中にとって必要か？ 正しいか？ 環境にやさしいか？

#### 〈自ら未来を創造する〉

- 1 新しい可能性にチャレンジし、持続可能な社会を実現します。
- 2 お客様の立場に立って考え、ニーズに応えます。
- 3 プラス発想と行動力で付加価値を高めます。
- 4 知性・技術・感性を育て、使命感を持って仕事に取り組みます。
- 5 豊かなところでコモアを忘れず仕事をします。

### CSRの取組み

#### 環境とともに

地球環境の保全と再生を促進すべき重要な経営課題と捉え、事業に付随する環境負荷低減活動に主体的に取り組む、資源の有効活用により持続可能な社会づくりにベストを尽くします。

#### 社員とともに

社員一人ひとりの多様性を尊重し、働きがいをもって自己実現に向かう人材育成を推進します。ワーク・ライフ・バランスに配慮し、働きやすい職場環境づくりを推進します。

#### 社会とともに

お客様、お取引先様、地域の方々など社会の様々な方とコミュニケーションを図り、お客様の立場に立って、誠実に製品やサービスをお届けします。お取引先様との相互理解・成長のため、ビジネスパートナーとして公正・透明な取引を行います。また、地球社会の一員として積極的に社会貢献活動を実施します。

## ガバナンス

### コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は持続的な成長および中長期的な企業価値の向上を目的とし、法令遵守と企業経営の透明性を確保するため、経営と執行に対する実効性の高い監督機能を確立し、様々なステークホルダーの信頼に応えることのできるコーポレートガバナンス体制の構築を重視し、さらなる体制の向上に継続して取り組んでいます。

### リスクマネジメント

当社は、地震や台風などの自然災害、産業災害、機密情報漏洩などの様々なリスクに対応するため、2017年にリスク管理規程を制定しました。リスクマネジメント体制として総務部門を中心に、リスク分類ごとに主管部門を定め対応する体制を整えています。またコンプライアンス委員会において、重要度の高いリスクについては対応策を決定し、リスクの継続および統制を行うとともに、毎年リスクの再評価を行っています。内部監査室がリスク管理状況を監視し、その結果に基づき改善事項のフォローアップを行っています。

### コーポレートガバナンス体制

- 2017年より社外取締役を兼任、取締役8名中2名を社外取締役とする体制としています。
- 取締役の経営責任の明確化と経営の監督機能を強化しています。
- 2019年より社外監査役を兼任しています。
- 2020年より監査役会を設置、監査役3名中2名を社外監査役とする体制にて、経営の適法性および健全性を監視しています。



## 参考資料 9-2 : FULUHASHI EPO REPORT 2021

### 環境とエネルギー創出による価値の創造



持続可能な社会の実現

### CO<sub>2</sub>削減実績

#### コンベアからの直接搬送

燃料用チップは、発電所の貯留ピットまでコンベアで直接搬送され、そのまま電力源となるため、廃棄物のトレーサビリティが明確で、輸送時のCO<sub>2</sub>削減にもつながります。

愛知第七工場(半田)で製造されたチップの約45%がコンベアでCEPO半田バイオマス発電所へ搬入され、これは50km離れた工場から廃棄物を運搬した場合と比較して、年間約92トンのCO<sub>2</sub>排出量が削減されたこととなります。川崎バイオマス発電所においても同様にジャパンバイオエナジーのチップ製造工場からコンベアでの搬送を行い、CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献しています。



#### CO<sub>2</sub>フリー電力の導入

2020年4月19日より愛知第七工場(半田)において、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しない再生可能エネルギー電源(電力会社が保有する水力発電などの再生可能エネルギー電源)に由来するCO<sub>2</sub>フリー・価値つき電力を使用しています。この電力の導入により、2020年度は出荷する木質リサイクルチップ1トンあたり約8.0kg、愛知第七工場(半田)全体で1年間に約214.9トンのCO<sub>2</sub>排出量が削減できました。

当社ではSDGsへの取組みにおける重要テーマとしてCO<sub>2</sub>排出量削減をおこなっています。今後も脱炭素社会に向け、再生可能エネルギー活用への取り組みを積極的に推進していきます。

